

変革期の 舞台技術とは

平成20年 7月8日(火)、9日(水)
愛知県芸術劇場大ホール・小ホール



参加定員：300名

参加費：7,000円 (資料代実費含む：懇親会費用別途徴収)

対象：舞台技術者 (照明/音響/美術/舞台監督/劇場管理技術) /
演出家/劇場建築家/実演家/演劇関係者 /
建築機材メーカー・安全機器メーカー社員等

講師

木村直樹 (文化庁文化庁芸術文化課文化活動振興室長)

大和 滋 (社団法人日本芸能実演家団体協議会)

渡邊邦男 (日本舞台音響家協会理事長)

土屋茂昭 (日本舞台美術家協会副理事長)

渡邊良三 (社団法人電気設備学会)

齋藤公治 (「劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン」
策定委員会主査/E・A・Tプラン株式会社取締役)

服部晃治 (丸茂電機株式会社)

加藤憲治 (ライティングビッグワン株式会社取締役副社長)

特別講師

佐藤壽晃 (舞台照明家/劇場コンサルタント)

松木哲志 (舞台音響家)

草加叔也 (劇場コンサルタント)

■後援 (予定)

文化庁/社団法人日本芸能実演家団体協議会/社団法人劇場演出空間技術協会/社団法人全国公立文化施設協会/舞台運営事業協同組合連合会/全国舞台テレビ照明事業協同組合
全日本舞台・テレビ技術関連団体連絡協議会/社団法人日本照明家協会/日本舞台音響家協会/日本舞台音響事業協同組合/日本舞台美術家協会/日本舞台監督協会
NPO法人世界劇場会議名古屋/NPO法人日本舞台技術安全協会/劇場等演出空間運用基準協議会/特定ラジオマイク利用者連盟

■協力 (予定)

アクティブビジョン(株)/アップライト・ジャパン(株)アルテリア(株)伊東洋行(株)イーブイオーディオジャパン/ウシオライティング(株)/ウーテシー・ビジ・ジャパン(有)
(株)エス・シー・アライアンス(株)エンジニア・ライティング/オタリテック(株)/(株)オールアクセス/(株)音響総合研究所/音響特機(株)/(株)オーディオテクニカ
カヤバシステムマシナリー(株)/カラーキネティクス・ジャパン(株)/(株)クリエイティブ・アート・スィング/(株)ケイエムステーション/ゲレツ・ジャパン・スズゼン(株)/(株)ケンソー
(株)剣プロダクションサービス/コモドマッティナー(株)/コートライティング(株)/(株)サンケン・エンジニアリング/サンセイ(株)/三精輸送機(株)/(株)シアターエンジニアリング
(株)スタジオリイメント/(株)スペース・エンジニアリング・ワークス/(株)タケナカ/(株)谷沢製作所/(有)タマ・テック・ラボ/(株)タムラ製作所/(株)テクニカル・サプライ・ジャパン/(株)東京舞台照明
東芝ライテック(株)/(株)永田音響設計/(株)日伸音波製作所/(株)俳優座劇場/パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)/(株)PRGアジア/ヒビノ(株)/ビクターアークス(株)
(株)ピーシーライツ/(株)ファーストエンジニアリング/不二音響(株)/ベストックオーディオ(株)/(株)ヘビームーン/松下電工(株)/松田通商(株)/マーチンプロフェッショナルジャパン(株)
(株)松村電機製作所/丸茂電機(株)/三菱重工業(株)/(株)メディアフェイス/森平舞台機構(株)/ヤマハ(株)/ヤマハサウンドテック(株)/ローランド(株)

我国の公共ホールは、1990年代後半から2000年に掛けて、年100館のペースで増加し、現在では2000館以上の公共ホールが運営されているという世界屈指の公共ホール数を誇る国家となりました。

しかし、行財政改革の影響で、旧郵政省関係のホール、厚生年金ホールなどのように閉館が決定したところもあります。一方、団塊世代の大量退職に伴い、熟練舞台技術者が大幅に不足してきており、実際にも死亡事故やケガ等の事故が増加の傾向にあり、舞台での安全確保が急務になってきました。このような状況下で、一部の公共ホールにおいて指定管理者制度が導入され、舞台管理に関わる舞台技術者の人件費やメンテナンス費用の削減が行われるようになりました。「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第二次基本方針)」策定時に懸念された「これまで地域で培われてきた文化芸術活動の安定的かつ継続的な展開が困難になる」という予想が現実化し始め、急速に舞台技術を取り巻く環境が悪化してきています。今回のセミナーでは、「変革期に入った公共ホールで、舞台技術者がどのように対応するか」をテーマに、文化芸術立国を目指す我国における舞台技術者などの養成及び確保、資質向上のための研修に対する文化庁の方針を伺います。また、昨年発足した「劇場等演出空間運用基準協議会」の進展報告及び昨年まで3年間行われた「これからの舞台芸術を担うスタッフにとってふさわしい共通基盤研修のあり方」等の経過報告を行います。

実習では、劇場等演出空間設備の劣化診断・適正更新時期判定プログラムの紹介及び設備更新に必要な最新舞台設備の紹介と使用方法の実技を行います。

7月8日(火) Programs <第1日> (予定)

- 9:30~10:00 **受付** (愛知県芸術劇場小ホールロビー)
- 10:00~10:15 **主催者挨拶・オリエンテーション**
- 10:15~11:00 **アートマネジメント人材等の育成及び活用について**
(愛知県芸術劇場小ホール)
講師 **木村直樹** (文化庁文化部芸術文化課文化活動振興室長)
- 11:00~11:45 **劇場等演出空間運用基準協議会の進展について**
講師 **大和 滋** (社団法人日本芸能実演家団体協議会)
- 11:45~13:15 **舞台芸術共通基盤研修の成果について**
司会 **草加叔也** 講師 **渡邊邦男・土屋茂昭**
- 14:00~14:45 **展示見学** (愛知県芸術劇場大ホール展示エリア)
- 14:45~15:15 **全体講習 劇場及びホールの改修についての提案**
(1) 設備更新のガイドライン (愛知県芸術劇場小ホール)
(仮) 劇場等演出空間における舞台設備更新ガイドラインの必要性と舞台管理技術者の専門性
講師 **渡邊良三** (社団法人電気設備学会)
- 15:15~17:45 **実技-1 「JATET-L-7190」劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン及び「JATET-L-7191」劇場等演出空間用照明設備の劣化診断・適正更新時期判定プログラムの解説と実施**
講師 **齋藤公治** (劇場等演出空間用照明設備更新のためのガイドライン) 策定委員会主査/E・A・Tプラン株式会社取締役
服部晃治 (丸茂電機株式会社)

※実習に際し、下記アドレスよりお持ちのPCにインストールし、PCを持参の上ご参加下さい。
(持参出来ない方、インストール出来ない方でもご参加頂けます)
アクセス先 <http://www.jatet.or.jp/> 技術委員会 → 照明部会 よりダウンロード下さい。

17:45~18:15 **まとめ** (愛知県芸術劇場小ホール)

18:30~20:00 **懇親会** (アパホテル 参加費7,000円)

7月9日(水) Programs <第2日> (予定)

- 9:30~10:00 **受付** (愛知県芸術劇場小ホールロビー)
- 10:00~12:00 **全体講習 劇場及びホールの改修についての提案**
(2) 各分野の最新器具の動向 (愛知県芸術劇場大ホール)
実技-2 舞台音響について
講師 **松木哲志・渡邊邦男**
- 12:45~13:30 **展示見学** (愛知県芸術劇場大ホール展示エリア)
- 13:30~15:00 **実技-3 舞台機構について**
講師 **草加叔也・土屋茂昭**
- 15:20~17:20 **実技-4 舞台照明について**
講師 **佐藤壽晃・加藤憲治・齋藤公治**
- 17:20~17:50 **全体まとめ** (愛知県芸術劇場大ホール)

キリトリ線

第15回 愛知県舞台技術者セミナー参加申込書

ふりがな
氏名

勤務先・所属

連絡先(いずれかに✓印を付けてください) 勤務先 自宅

住所 〒

TEL () FAX ()

※上記に記入していただいた情報は、報告書の送付及び次回セミナーのご案内をする時に使用しますので、ご了解の上、ご記入ください。お預かりした個人情報は法令を遵守し、適切に管理します。

参加形態 (参加ご希望の講習に✓印を付けてください)

全日程参加

8日(第1日)のみ参加

9日(第2日)のみ参加

懇親会への参加(いずれかに○印を付けてください)

する

しない

(参加費用7,000円 ※セミナー参加費とは別になります)